

V 教育訓練

(教育訓練)

1 概 要

近年、災害の態様は、気候変動や社会経済の進展等に伴い複雑多様化・大規模化の傾向にあり、消防機関の業務は、このような状況に適切に対応するため、警防、予防、救急、救助等あらゆる活動分野でその量・範囲が増加・拡大する中、専門的かつ高度な知識や技術が求められている。

また、平成23年3月11日に発生し、地震、津波により甚大な被害が発生した東日本大震災の教訓等から、人々の消防に対する期待は非常に大きなものとなってきている。

こうした状況及び要請を踏まえ、消防学校では、消防職・団員に対し、その使命・責務を正しく認識させることはもとより、業務遂行上必要となる知識及び技術の修得を図るため、国の教育指標である「消防学校の教育訓練の基準」に基づき、多様な教育訓練を実施している。

また、女性防火クラブや自衛消防隊など自主防災組織の入校も積極的に受け入れ、防災関係の講義をはじめ、消火設備・器材の取扱い、災害模擬体験等を通じ、防火防災思想の普及を図っている。

なお、消防の幹部・指導者の養成を目的として必要な知識、技術、管理能力等の修得を図るための教育訓練を実施している消防大学校に対し、毎年県下から十数名入校している。

2 消防学校の教育訓練

(1)平成23年度教育訓練概要

県下消防職団員に対し、「精神教育」「学科教育」「実科教育」を三位一体として実施した。

特に消防人として必要な、人格の向上、学術技能の修得、気力・体力の錬成、規律の保持、協力精神の涵養を図るとともに、訓練施設や資機材を十分活用しながら複雑多様化する災害に即応できる高度の技術を持った近代消防人の養成に努めた。

なお、その他各防災関係団体に対しても幅広い防火防災教育訓練を実施した。

ア 消防職員の教育訓練

新規採用職員を対象とした初任教育、現任の職員に専門的知識・技術を教授する専科教育、幹部職員に対する幹部教育等について、前年の実績を踏まえ一層の教育内容の充実を図った。

イ 消防団員の教育訓練

新入団員から幹部団員まで、それぞれに応じた教育訓練を実施した。

(2)機 構

職 名	校 長	副 校 長	教 務 係 長	主 幹	副 主 幹	主 任	計	その他職員		合 計
								嘱 託 職	臨 時 職	
人 員	1	1	1	2	4 (消防 (局) 本 部からの 派遣 4)	1	10	5 (内舎監2 専任講師1 医師1 その他1)	1	16

(3) 施設 (寮室収容人員100名)

施設	区分	構造	延床面積 (m ²)	摘 要
敷	地		22,938	
施 設	本館	RC (3階)	1,241	1階 事務室、機材室、教官室、休養室、トイレ(男女)
				2階 第2教室、理化学教室、図書室、準備室、トイレ
				3階 第1教室、視聴覚教室、トイレ
	寄宿棟 (北寮)	RC (3階)	1,486	1階 寮直室、舎監室、談話室、食堂、浴室、 救急実技室、洗面所、トイレ
				2階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
				3階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
	寄宿棟 (南寮)	RC (3階)	1,544	1階 大教室、特別会議室、浴室(男女)、トイレ(男女) 洗面所、倉庫、機械室、寮室1室(4人×1室)
				2階 寮室4室(4人×4室)、救急実技室、談話室、 洗面所、トイレ、倉庫
				3階 寮室8室(4人×8室)、茶室、洗面所、トイレ、 倉庫
	屋内訓練場	RC (1階)	868	管理室、脱衣室、機械器具室、講師室、ステージ、トイレ
	燃焼実験室	RC (一部2階)	280	スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、粉末消火設備、 二酸化炭素消火設備、泡消火設備、補助訓練塔併設
	訓練塔	RC (8階地下1階)	457	煙道付 (17m・地下1階)
	補助訓練塔	S (2階)	122	ホース乾燥設備併設
	煙道	床板張	29	
	水難救助 訓練用施設	RC	400	25m×7コース、洗眼装置、滅菌装置一式、トイレ
車庫	S (1階)	403	機械実習室、高圧空気充填室、エアコンプレッサー設備	
機械室	RC (1階)	72	給排水用設備一式、冷暖房設備一式	
屋外訓練場	芝張等	8,000	放水標的、照明設備、洗車場、自家発電設備	
駐輪場	S (1階)	29	14.7m×2m 30台分	
その他		197	LPG倉庫、合併処理槽、ポンプ室、キュービクル2 基、渡り廊下等、浄化槽、井戸、屋外便所	

(4)平成23年度教育訓練実施状況(1)

平成24年3月31日現在

教育区分	月												延日数 実日数(日)	教育時間 (時間)	摘要 期・人数	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
初任教育														164	804	64期 92人
		6(7日入校式)						16						112		39期 27人
専科														12	70	33期 24人
教育														12	70	33期 26人
職														9	49	33期 23人
員														7		
教														12	70	33期 26人
育														10		
														57	266	17期 75人
														38		
														29	140	39期 21人
														20		
幹部教育														9	49	26期 23人
														7		
特別教育														2	14	41期 23人
														2		
														5	35	3期 24人
														5		
														3	21	18期 63人
														3		
合計														314	1,588	421人
														224		

平成24年3月31日現在

下段:人数

上段:日数・(時間)

平成23年度教育訓練実施状況(2)

教育区分	月												合計	摘要				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
団員教育	基礎教育	4 (24) 88														4 (24) 88	2日×2回	
	専科教育		4 (24) 78	2 (12) 99												6 (36) 177	2日×3回	
	幹部教育			4 (24) 111												4 (24) 111	2日×2回	
	ラッパ科								1 (6) 46							1 (6) 46	1日×1回	
	特別								1 (6) ※			1 (6) 30				2 (12) 30	2日×1回	
	指導員研修															1 (5) 28	1団(隊)	
	一日入校	1 (5) 28														1 (5) 28		
	現地教育					4 (8) 80			4 (8) 80		4 (8) 80	5 (10) 100				13 (26) 260	13回	
	計	5 (29) 116	4 (24) 78	6 (36) 210		4 (8) 80	6 (20) 126	6 (16) 130								31 (133) 740		
	関係団体	女性防火クラブ		1 (2) 29	1 (2) 46	1 (2) 20								3 (8) 68	1 (2) 22		7 (16) 185	7団体
		婦人消防隊												1 (5) 22			1 (5) 22	1団体
防火管理者													2 (11) 117			5 (24) 173	5団体	
その他の団体			1 (4) 15			1 (6) 15			1 (6) 26				6 (24) 207	1 (2) 22		13 (45) 380		
計		2 (6) 44	1 (2) 46	1 (2) 20	1 (6) 15	7 (23) 152	6 (16) 130					6 (24) 207	1 (2) 22		44 (178) 1,120			
合計	5 (29) 116	6 (30) 122	7 (38) 256	1 (2) 20	5 (14) 95	7 (23) 152	6 (16) 130	6 (24) 207	1 (2) 22						44 (178) 1,120			

※指導員研修は、9/30-10/1で実施したため、両日の出席者として10月で集計した

(5) 平成23年度消防本部別入校者数(職員教育)

平成24年3月31日現在

課程 科 期	初任教育	専 科 教 育						幹部教育			特別教育			計
		警防科 39期	予 防 査察科 33期	危険物科 33期	火 災 調査科 33期	救急科 17期	救助科 39期	中 級 幹部科 26期	無線通信 課 41期	救急隊長 講 習 3期	ポンプ操法 指導員課程 18期			
消防本部(局)	64期	39期	33期	33期	33期	17期	39期	26期	41期	3期	18期			
前橋市	9(1)	4	3	4	5	7(1)	3	4	3	4	15		61(2)	
高崎市等広域	25	5	5	4	5	12(3)	4	4	4	4	4		76(3)	
桐生市	8	2	2	1	1	4	1	1	—	1	5		26	
伊勢崎市	9	3	1	2	2	8	2	2	2	2	4		37	
太田市	5(1)	4	5	4	5	5	4	4	1	4	5		46(1)	
利根沼田広域	5	1	1	1	1	4	1	2	—	1	4		21	
館林地区	7	2	2	2	2	10	2	2	2	2	5		38	
渋川広域	10	1	1	1	1	8	1	1	5	1	5		35	
多野藤岡広域	4	2	2	2	2	6	1	1	2	2	5		29	
富岡甘楽広域	4(1)	1	1	1	1	5	1	1	—	1	5		21(1)	
吾妻広域	6	1	1	1	1	6	1	1	—	2	5		25	
計	92(3)	26	24	23	26	75(4)	21	23	19	24	62		415(7)	
									※ 23				※ 419(7)	

※ 消防職員以外の入校者(伊勢崎市消防団2名、太田市役所1名、県消防保安課1名)を含む。

注 ()内は女性数(内数)

(6)年度別教育訓練実績表

(単位:人)

教育区分 年度	消 防 員				消 防 団 員				関 係 団 体				合計 (A+B+C+D)												
	職 教 育				防 団 員				係 団 体																
	専 科 教 育				特 別 教 育				事 務 担 当 者 (C)																
	初任教育	幹部教育	初級幹部科	中級幹部科	予防査察科	危険物科	火災調査科	救急科	救助科	その他	特別教育	基礎教育		幹部教育	専科教育	機関科	ラッパ科	一日入校	現地教育・他	計(B)	女性 防火 管理 者	その他 団 体	計(D)		
初任教育	幹部教育	初級幹部科	中級幹部科	予防査察科	危険物科	火災調査科	救急科	救助科	その他	特別教育	基礎教育	幹部教育	専科教育	機関科	ラッパ科	一日入校	現地教育・他	計(B)	女性 防火 管理 者	その他 団 体	計(D)				
平成 5	85			20	22	22	29	43	76	23	18	129	492	89	190	226	52	224	1,101	1,882	17	161	1,510	1,981	4,372
6	82				23	27	60	59	24	17	58	420	109	167	217	39	1,501	924	2,957	21	135	1,713	2,502	5,900	
7	93			20	21	29	72	47	20	22	118	486	94	172	255	48	91	180	840	11	163	1,491	2,051	3,388	
8	89				22	34	84	58	25	22	47	451	98	144	176	26	1,219	60	1,723	11	43	1,567	2,179	4,364	
9	75				25	32	77	69	23	22	110	507	112	153	246	42	21	36	610	0	55	664	1,117	2,234	
10	71				25	37	88	71	25	28	46	465	58	105	191	30	766	176	1,326	0	53	637	1,076	2,867	
11	65				26	38	81	73	25	28	106	522	64	145	219	42	15	96	581	0	23	569	1,011	2,114	
12	50				26	37	70	78	24	29	51	436	101	133	211	24	899	676	2,044	0	46	315	607	3,087	
13	51				26	34	62	69	26	28	169	535	146	145	227	78	54	26	676	27	47	260	707	1,945	
14	57				24	32	52	62	25	27	85	434	131	116	180	58	927	450	1,889	0	130	418	1,108	3,431	
15	53				25	35	46	68	24	27	134	480	133	162	201	57	25	0	578	0	155	240	756	1,814	
16	58				24	28	80		23	17	41	340	109	171	176	50	1,068	629	2,203	0	111	176	572	3,115	
17	55				23	30	75	24	24	23	98	393	94	196	195	50	28	60	623	0	171	51	591	1,607	
18	67				27	34	65	25	25	23	47	364	93	201	133	51	992	542	2,012	0	182	181	482	2,858	
19	61				26	29	63	24	24	22	89	383	76	135	191	33	29	0	464	0	94	144	394	1,241	
20	88				26	27	59	26	20	20	24	341	114	115	155	43	1,577	345	2,349	0	105	85	653	3,343	
21	89				24	26	63	23	21	21	83	391	101	111	238	59	29	304	842	0	31	185	527	1,760	
22	77				25	26	74	24	24	-	49	344	67	113	164	48	1,424	892	2,708	0	32	108	456	3,508	
23	92				27	26	75	21	21	-	100	412	88	111	177	46	28	290	740	0	22	173	380	1,532	

※救急科 H5～15の左欄はⅡ課程、右欄は標準課程。

3 消防大学校の教育訓練

(1) 教育訓練目的

部	学 科	教 育 訓 練 目 的
総 合	幹 部 科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材を養成する。
	上級幹部科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、現に消防の上級幹部である者の資質を向上させる。
教 育	新任消防長・学校長科	新任の消防長・消防学校長に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に習得させる。
	消防団長科	消防団の上級幹部に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させる。
専 科 教 育	警防科	警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、警防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	予防科	予防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、予防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	救急科	救急業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、救急業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	救助科	救助業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、救助業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	火災調査科	火災調査業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、火災調査業務の監督者及び指導者としての資質を向上させる。
	危険物科	危険物保安業務に関する高度の知識及び技術を専門的に習得させ、危険物保安業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	新任教官科	新任の消防学校教育訓練担当職員等に対し、その職に必要な知識及び能力を専門的に習得させる。

科	コース	教 育 訓 練 目 的
緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
	高度救助コース	高度救助隊、特別高度救助隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
	NBC・特別高度救助コース	緊急消防援助隊のNBC災害対応要員等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
	航空隊長コース	消防・防災航空隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
	航空隊コース	消防・防災航空隊の救助隊員等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
危機管理・防災教育科	トップマネジメントコース	地方公共団体の首長等に対し、大規模災害発生時における対応能力を習得させる。
	防災実務・管理コース	地方公共団体の防災実務管理者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
	国民保護コース	地方公共団体の国民保護担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。
	自主防災組織育成コース	自主防災組織の育成担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させる。

(2)平成23年度消防大学校入校状況

	学 科	期・回	入校人数
総合教育	幹部科	25	2
		26	1
		27	2
		28	0
	上級幹部科	75	0
	新任消防長 ・学校長科	11	0
		12	1
	消防団長科	59	0
60		0	
専科教育	警防科	89	1
		90	1
	予防科	90	0
		91	1
	救急科	73	1
	救助科	64	0
		65	2
	火災調査科	21	2
		22	2
	危険物科	6	0
	新任教官科	6	1
	合 計		

	コース	期・回	入校人数
緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	7	0
	高度・特別高度救助コース	1	2
	NCBコース	1	1
	航空隊長コース	8	0
9		1	
防危機管理教育科	トップマネジメントコース	12	1
	危機管理・国民保護コース	1	1
	自主防災組織育成コース	7	0
合 計			6

(3) 年度別・消防本部別消防大学校総合教育・専科教育入校状況

	平成 19						平成 20						平成 21						平成 22						平成 23						過去5カ年計																		
	幹部科	上級幹部科	消防団長科	消防予防科	救急科	救火・危険物科	新任教官科	幹部科	上級幹部科	消防団長科	消防予防科	救急科	救火・危険物科	新任教官科	幹部科	上級幹部科	消防団長科	消防予防科	救急科	救火・危険物科	新任教官科	幹部科	上級幹部科	消防団長科	消防予防科	救急科	救火・危険物科	新任教官科	幹部科	上級幹部科	消防団長科	消防予防科	救急科	救火・危険物科	新任教官科														
前橋市	1			1	1	1		1				1	1		1							1							0	3	2	1	0	0	1	2	2	5	0	0	16								
高崎市等																																																	
桐生市			1			1								1																																			
消防本部						1																																											
伊勢崎市			1																																														
消防本部						1																																											
太田市			1	1		1																																											
消防本部						1																																											
利根沼田						1																																											
消防本部						1																																											
館林地区						1																																											
消防本部						1																																											
渋川広域						1																																											
消防本部						1																																											
多野藤岡						1																																											
消防本部						1																																											
富岡甘栗						1																																											
消防本部						1																																											
吾妻広域						1																																											
消防本部						1																																											
消防学校							2																																										
市町村																																																	
合計	2	0	1	0	3	3	2	5	1	3	4	0	1	2	1	1	1	1	1	3	0	1	2	2	2	2	1	3	3	1	0	1	2	2	2	2	2	1	4	0	1	0	0	0	0	3			